

# ポートフォリオの状況と当面の運用方針

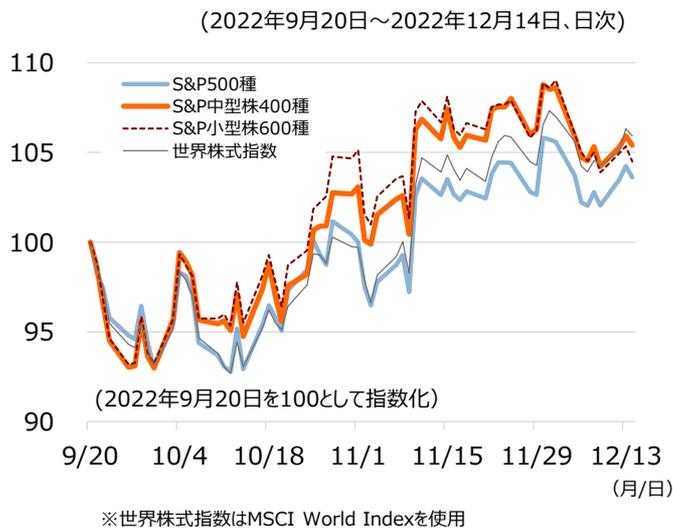
岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)  
愛称 ザ・ディスカバリー  
追加型投信/内外/株式

THE DISCOVERY

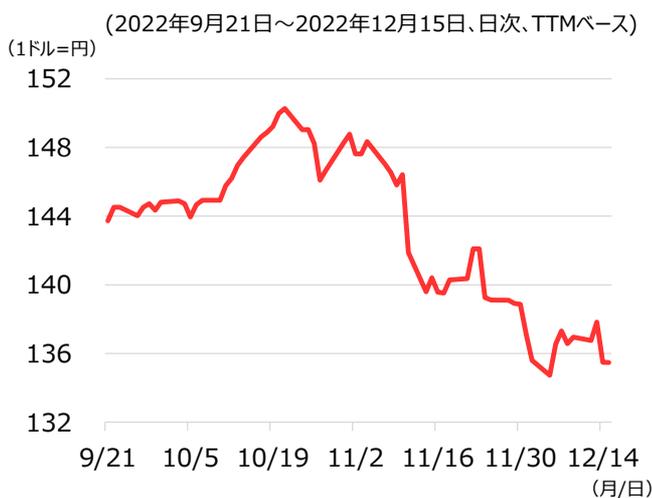
## 株式市場と為替市場の動き

世界の株式市場は11月に反発しましたが、12月に入ってから、米連邦準備制度理事会(FRB)による利上げが長期化し米景気を悪化させるとの懸念から売りが優勢になっています。為替市場(米ドル/円)は、米長期金利の低下基調が12月もみられる中、米ドルが対円で下落する動きが続いています。(図表1、2)

図表1. 主要株価指数の推移



図表2. 米ドル/円の推移



(図表1、2の出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

## 米国主体のポートフォリオを構築し、様々な投資機会を捉える

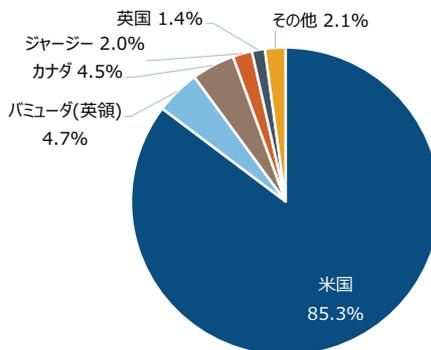
投資対象ファンドの10月末時点のポートフォリオ構築状況をみると、国・地域別組入比率では米国株を全体の8割以上組入れています(図表3)。

米国株式市場には、国内で事業を行う企業からグローバルに事業展開している企業まで多種多様な銘柄が存在し、様々な投資機会を活用できると考えています。

また、その他の国・地域に投資を行う上では、米国企業にはない独自の優れた投資機会を有しているかという観点で組入れを行っています。

図表3. 国・地域別組入比率

(2022年10月末現在)



※各比率は、投資対象ファンドの保有株式総額に対する比率。

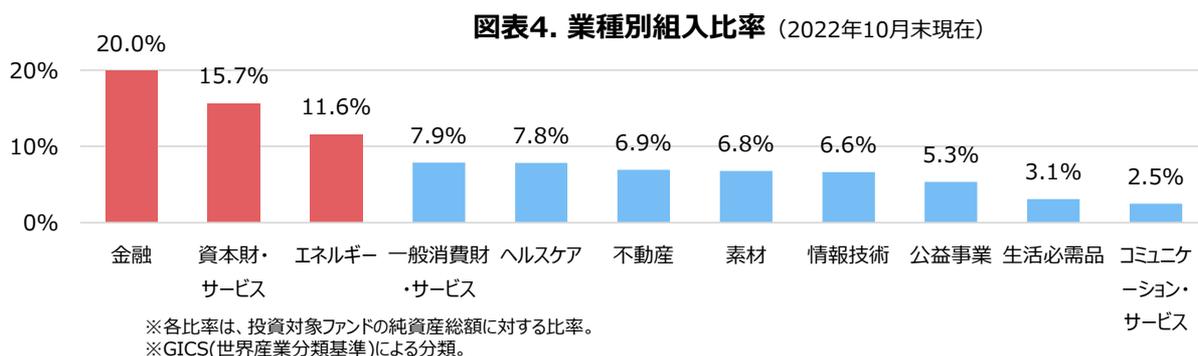
(出所)フィデリティ投信のデータを基に岡三アセットマネジメント作成

### —本資料に関してご留意いただきたい事項—

- 本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。
- 本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## 組入上位3業種は金融、資本財・サービス、エネルギー

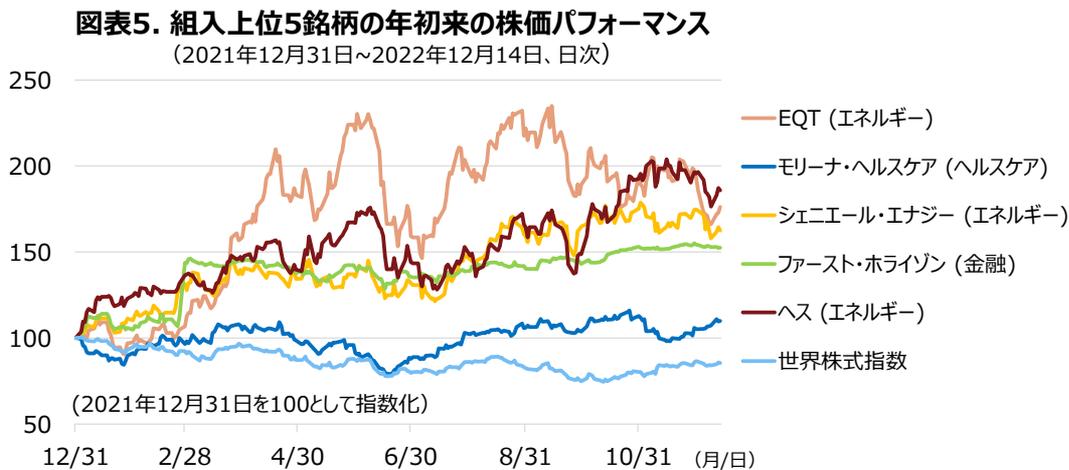
業種別組入比率をみると、金融、資本財・サービス、エネルギーの上位3業種でポートフォリオ全体の半分近くを占めています(図表4)。金融セクターでは地方銀行や保険会社を中心に組入れており、**割安な株価バリュエーションや金利上昇の恩恵を受けたファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)の回復**に着目しています。資本財・サービスセクターでは景気悪化の影響を受けやすい銘柄の組入れは極力避けて、**独自の強みを有し競争力のある事業を行う銘柄**を中心に組入れています。エネルギーセクターに関しては、引き続き新規の開発・設備投資が限定的な中で、**供給増加が見込みにくく景気悪化時に需要が鈍化した場合でもエネルギー価格に大幅な下押し圧力がかかりにくい**ことが株価の下支えになるとみています。



(出所)フィデリティ投信のデータを基に岡三アセットマネジメント作成

## 組入上位銘柄のパフォーマンスと情報技術関連銘柄の投資機会

2022年10月末時点では、コスト競争力が高く良好なファンダメンタルズを持つエネルギーセクターや、景気循環の影響を受けづらく安定したキャッシュフローが期待できる金融セクター、底堅いファンダメンタルズでありながらバリュエーションが競合対比で割安なヘルスケアセクターの銘柄などを上位に組入れています。これら組入上位5銘柄の年初来の株価推移をみると、いずれも世界株式指数を上回るリターンとなっています(図表5、6)。



※トータル・リターン、米ドルベース。  
 ※世界株式指数はMSCIワールド・インデックス(MSCI World Gross Total Return USD Index)を使用。  
 ※MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

### —本資料に関してご留意いただきたい事項—

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。  
 ■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様自身で行っていただきますようお願いいたします。

図表6. 投資先ファンド組入上位10銘柄（2022年10月末現在）

銘柄	業種	比率	銘柄概要
1 EQT	エネルギー	2.7%	米国のアパラチア盆地を中心に天然ガスの開発・生産を行う。
2 モリーナ・ヘルスケア	ヘルスケア	2.4%	米国の医療保険会社。主に低所得者や障害者向けのメディケイドを展開。
3 シェニエール・エナジー	エネルギー	2.3%	液化天然ガスの輸送・生産大手。液化天然ガスの生産では全米トップクラスの規模。
4 ファースト・ホライゾン	金融	2.3%	多角的な金融サービスを提供する銀行持株会社。主に米国南部で事業展開。
5 ヘス	エネルギー	2.2%	複数の国・地域にて天然ガスや原油の開発・生産・販売を行う。
6 アーチ・キャピタル・グループ	金融	2.0%	保険、再保険、住宅ローン保険等を手掛ける。
7 アメリカン・ファイナンシャル・グループ	金融	1.8%	法人や個人向けの損害保険等を米国で展開。
8 スチール・ダイナミクス	素材	1.6%	米国の鉄鋼事業者。製鉄事業に加え、金属再生・リサイクル事業も手掛ける。
9 WNS(ホールディングス)	情報技術	1.5%	ビジネス・プロセス・マネジメントのリーディング・カンパニー。13カ国で事業を展開。
10 エイコム	資本財・サービス	1.4%	インフラ建設プロジェクトに関する計画から施設管理まで、一般的なコンサルティングサービスを提供。

※各比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対する比率。

(出所)フィデリティ投信のデータを基に岡三アセットマネジメント作成

**情報技術関連銘柄に関しては、市場における利益成長の見通しが楽観的で株価バリュエーションが割高であったことなどから、これまで組入比率を抑えてきましたが、足元にかけての株価調整を経て投資魅力の高い銘柄が徐々に現れつつあると考えています。**不安定な相場環境だからこそ、徹底した企業調査によって市場の見誤りに気付き、確信を持てる優れた銘柄への投資機会を模索する方針です。

## 当面の投資環境の見通し・運用方針

米国や欧州で軟調な経済指標の発表が続く一方、米国をはじめ世界の主要国がインフレ抑制のために利上げを続けていることから、世界の株式市場においては今後、①**中央銀行の金融引き締め**の動向と、②**それに伴う景気減速**がどの程度深刻になるか、という**2点が焦点**になると考えられます。足元のインフレ指標には上昇ペース鈍化の兆しもみられますが、来年にかけてインフレは一定の水準で高止まりする可能性があり、主要国における利上げが市場の想定よりも長期化することもあり得ると考えています。12月の米連邦公開市場委員会(FOMC)で0.5%の利上げが決定され、今後も追加利上げが見込まれる中、引き続き企業の借り入れコスト上昇を注視する必要があり、バランスシートの健全性が試される局面も続くと考えられます。

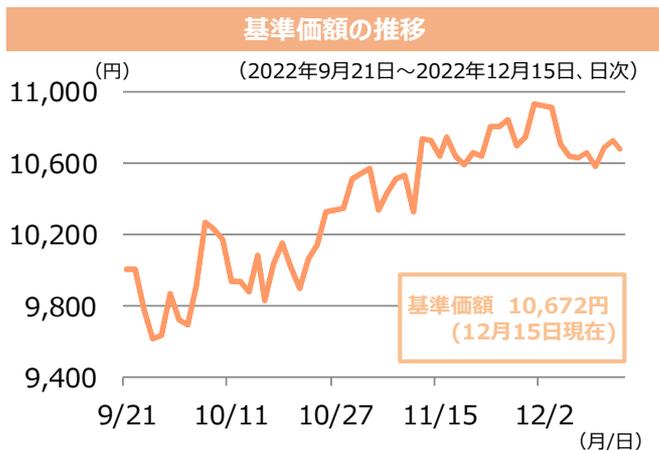
運用面では市場の短期的な動きに惑わされず、長期的な企業ファンダメンタルズに照らして**上昇余地の大きい株価水準で投資**することが従来以上に求められます。**足元の環境では特に、バリュエーションとキャッシュフロー創出力という2点を重視して銘柄を分析することが重要**です。ボラティリティが高まっている今の局面は、市場が見誤っている有望な銘柄に割安な株価で投資をする好機につながると考え、**インフレへの耐性があり、支出をコントロールでき、結果として将来のキャッシュフロー創出力が高い企業を見い出すことに注力**していきます。

### —本資料に関してご留意いただきたい事項—

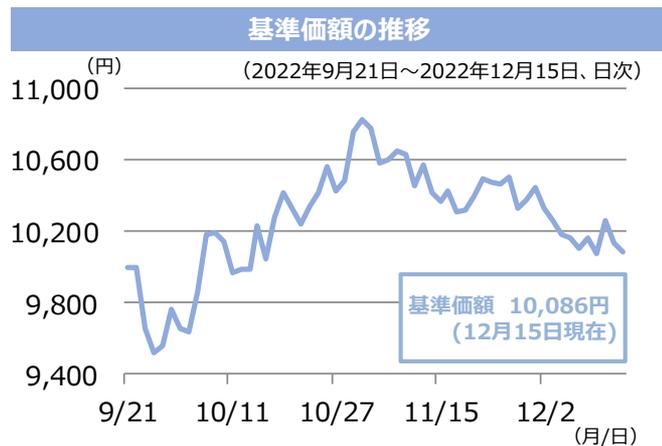
■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。  
 ■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様自身で行っていただきますようお願いいたします。

## 運用状況（作成基準日 2022年12月15日）

### <為替ヘッジあり>



### <為替ヘッジなし>



※上記のグラフの基準価額は1万円当たり、信託報酬控除後です。 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドデータ	
基準価額	10,672円
残存元本	1,477百万円
純資産総額	1,576百万円
ポートフォリオ構成比率	
フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	95.6%
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	0.2%
短期金融商品その他	4.2%

ファンドデータ	
基準価額	10,086円
残存元本	8,152百万円
純資産総額	8,223百万円
ポートフォリオ構成比率	
フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	97.1%
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	0.2%
短期金融商品その他	2.7%

※上記の各構成比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

(作成 : 運用本部)

#### —本資料に関してご留意いただきたい事項—

- 本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。
- 本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## 岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンドに関する留意事項

### 【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

### 【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
  - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、各ファンド共通のリスクとして「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」、「カントリーリスク」、各ファンド個別のリスクとして「為替変動リスク」があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

### 【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
  - 投資信託は預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
  - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
  - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
  - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

### 【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
  - 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
  - 換金手数料：ありません。
  - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
    - 運用管理費用（信託報酬）  
：純資産総額×年率1.265%（税抜1.15%）
    - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担  
：純資産総額×年率1.98%（税抜1.80%）程度  
実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
  - その他費用・手数料
    - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
  - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)  
 愛称 ザ・ディスカバリー  
 追加型投信/内外/株式

**販売会社**

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○			
JIA証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			○
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)